

■稲沢市長選挙 2020.11.22執行 投票率32.99%



当選 28,390加藤錠司郎氏 現2期 65歳
7,641渡辺幸保氏

11月15日告示、22日に投開票された稲沢市長選挙は現職の加藤候補が再選を果たしました。鈴木はコロナ禍の厳しい状況の中でありますので現職が引き続き対応するのがベストと考え市議会市民クラブ(木全会長)の皆さんと現職を支持、久保田選対本部長のもと副本部長として創生会(出口会長)、公明党市議団(朽本団長)の方々と選挙戦に臨みました。投票率は新人4人の激戦となった前回選の44.90%から32.99%と11.91ポイント下回り合併後最低でした。少子高齢人口減少が進む中、コロナへの対応はもとより、箱モノ建設が続くなかwith/afterコロナを見据えた未来へ向けて施設の統廃合、DX(デジタルトランスフォーメーション)などの重要課題へも真摯に向き合って頂けるものと期待しています。

今回の選挙から感染防止やスロープなどのバリアフリーの観点から投票所の見直しが行われ、前回の38投票区から7区減少して31(稲沢25→20、祖父江8→7、平和5→4)となりました。投票地域、投票場所(建物)も変更された方もいて投票率低下の一因と思われます。主権者教育等のソフト面に加えて商業施設・学校等や移動投票所など投票率向上に向けハード面での対策の充実も必要です。



■稲沢市議会の委員会・会派構成等 (敬称略)

市長選挙と同時に行われた遠藤明市議(叙勲 旭日単光章を受章)の逝去による補欠選挙では新人の平床健一氏が当選。10月からの市議会は木村喜信議長(大里西4期)、大津丈敏副議長(稲沢3期)のもと、下記の構成で運営されています。

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務	服部礼美香	杉山太希	木全 木村 網倉 六鹿 服部(猛) 野々部
文教厚生	志智 央	黒田哲生	平野 北村 大津 岡野 吉川 出口 朽本
経済建設	津田敏樹	富田和音	近藤 加藤 東野 長屋 星野 曾我部

創生会 (16名)	服部 猛⑤ 長屋宗正⑤ 会長出口勝実⑤ 網倉信太郎④ 木村喜信④ 六鹿順二④ 幹事長東野靖道③ 吉川隆之③ 大津丈敏③ 会計服部礼美香② 津田敏樹② 近藤治夫① 黒田哲生① 北村太郎① 平野賀洋子① 杉山太希①
市民クラブ(5名)	幹事長星野俊次⑤ 会長木全信明③ 会計志智 央② 富田和音① 岡野次男①
公明党稲沢市議団(2)	団長朽本敏子⑤ 会計 加藤孝秋③
(日本共産党稲沢市議会議員団) 曾我部博隆④ (尾張新都クラブ)	野々部尚昭⑦ (無所属) 平床健一①
鈴木純事務所 稲沢市稲島11-24 TEL 24-6600 FAX 23-0791	

STEP2



申し訳ありません。会期末に305億円の追加補正(愛知県全域を対象にした時短協力金303億余円、ひとり親世帯臨時特別給付金1.6億余円)があり、11月補正のコロナ対策は522億円に、これまでの総額は3,118億円になりますが、J-PRESSには反映出来ておりません。

SHINSEI AICHI of Aichi Pre. Assembly 2020.12.21

愛知県議会報告 J-PRESS

新政あいち県議団

責任者:鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

愛知県議会報告は新政あいち議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

あいち朝日遺跡ミュージアム

12月16日に閉会した11月県議会には、時短への追加対策 10億余円を含む新型コロナウイルス感染症の217億円や人事委員会勧告による職員等の給与と改定(期末手当0.05月15億円の減額)を含む一般会計補正予算202億余円、捺印を不要とし署名のみに改めるサービスの宣誓に関する条例の一部改正、新濃尾大橋上部工事 37億余円の工事請負契約の締結についてなどが上程され全ての議案について可決・同意し、継続審査になっていた令和元年度決算について認定しました。

コロナの状況は10月下旬から再び新規感染者数の増加が始まり11月19日に初めて200人を超えるなど厳しい状況のため同日には厳重警戒 オレンジゾーンに移行、29日から12月18日まで栄・錦地区の時短等の要請(協力金として追加補正10億余円)となっています。このプレスがお手元に届く頃には落ち着いていることを願うばかりです。



総務省の見解を拡大し、大規模な災害まで例示するとともに、等を付けることにより社会の変化を見据え将来に向けての議論の余地を残しています。(大阪府議会は育児、介護等のやむを得ない事由も明記)：未来へつづくまちづくりへ生懸命働きます。

さて、ジャックアタリ氏が危惧したコロナパンデミックの1年でしたがコロナ禍を乗り越え、with/afterコロナで東京オリンピック2020が世界共通の克服のシンボルとなり新しい時代のスタートとなることを祈っています。まずは1月27日に開幕する第76回国民体育大会冬季大会「夢!きらリンク愛知国体」の成功に向け準備を進めてまいります。

本年もありがとうございました。新春からも宜しくお願い申し上げます。



選挙戦最終日に加藤候補と街頭でお願いをさせて頂きました。

議会改革PT+オンライン委員会

鈴木が事務局長を務める議会改革PTではコロナの拡大による社会状況等の変化に対応するためクラウド化などの取組を歩進め情報共有とペーパーレス化、新しい生活様式の中でも必須となるWeb会議の導入、常任委員会のネット中継、本会議中継のスマートフォン対応などICTを活用した議会改革や高校生議会の開催など重点項目の再検討(強化)を図りました。

上の写真はオンラインによる委員会出席に関するデモンストレーション(接続確認等)の様様です。左側が自宅からアクセスしている鈴木のパソコンの画面です。

愛知県議会議員
(稲沢市選出)

すずき 純



■一般会計補正予算の新型コロナウイルス感染症対策等

【11月補正のコロナ対策予算は217億円 債務負担行為0.1億円】

コロナ対策予算は、前年度の2月補正20億円から6月補正1,160億円、9月補正719億円等に加え今回の217億円で総額2,813億円(外に債務負担行為1,201億円)に上ります。

1.感染症拡大防止や医療面での対策

感染拡大防止に向けた施策や医療提供体制の更なる強化のための取組を実施

・診療・検査機関の設備導入支援 41.2億円

発熱患者に対しコロナとインフルの両方の治療または検査が適切に行える県指定の診療・検査機関(11月時点で市内99機関の内指定は21機関)への設備導入補助

・PCR検査体制の拡充 32.7億円

・コロナ対策医療機関従事者慰労金 59.2億円

6月補正時と同様1人当たり5～20万円を支給

・愛知県医療従事者応援金 8.6億円(基金からの上乗せ交付を含む)5月補正と同様入院受入の医療機関へ応援金

・子ども食堂の感染症対策を支援 0.2億円 子ども食堂の開催へ衛生用品等の購入費用を支援(上限10万円)

・避難所等の感染防止対策支援 1.6億円

・栄等の営業時間短縮の協力店に感染防止対策協力金を交付(11/29～12/18、1日2万円、上限40万円) 10.5億円

2.県民生活への対策

県民生活への影響を最小限に抑えるため様々な側面から対策を実施

・コロナの影響により収入が減少した世帯に対する生活福祉貸付制度による生活費用の支援 36.6億円

・県立学校の感染症対策や学習保障の取組の充実に2.8億円、タブレット端末の追加整備に22.4億円

・DX推進本部を司令塔に行政手続等のオンライン化への課題分析などデジタル化を加速 0.04億円

3.経済対策

経済活動への影響を最小限に抑えるとともに経済活動の回復や強靱な経済構造の構築への支援策を展開

・県内企業のデジタル技術の活用促進へデジタル技術の活用状況等について調査(債務負担行為0.08億円)

・中小企業等へのテレワークに関する専門家の派遣や出張相談会を追加実施 0.07億円

【スタートアップ支援拠点整備】 0.2億円(外に債務負担行為35億円) イノベーションを創出する愛知県独自のエコシステムを形成するためステーションAIの推進早期支援拠点の拡張

■あいち朝日遺跡ミュージアムOPEN!

名高速と第二環状の交差する清州JCT直近の史跡貝殻山貝塚の敷地を拡幅し、あいち朝日遺跡ミュージアムがオープンしました。朝日遺跡は弥生時代前期から古墳時代前期まで営まれた全国でも有数の大規模集落です。



●朝日遺跡ロケーションジオラマ



丸窓付土器や赤彩(せきさい)土器など2,028点が重要文化財となっています。施設ではクロスロードビジョンや弥生道具体験、弥生衣装体験、屋外広場では環壕(かんこう:堀)と貝層や竪穴住居の展示などご家族で楽しんで頂けます。



●クロスロードビジョン



●丸窓付土器

●赤彩土器



■愛知県建設局長への稲沢市からの要望

稲沢市から建設局長への要望活動が行われ地元議員として出席しました。市長挨拶の後、道路整備事業6項目、河川整備事業3項目の中から重点項目として合併時の新市の建設計画にある●(都)祖父江稲沢線の早期整備、●2級河川三宅川の整備促進、●2級河川福田川の整備促進について鈴木建設部長から要望説明が行われました。



■トピックス

●連合愛知尾張南地協県政報告



●豊橋市長選浅井よしとか氏当選



●宮田用水土地改良区中間監査



コロナ関係では季節性インフルエンザの流行期に備え発熱患者等が地域の医療機関に直接電話相談の上、診療・検査できるよう県指定の診療・検査医療機関(指定は6千弱機関の内約2割)や街宣資料から9月議会や議会改革PT、来年度に向けた知事への提言等報告しました。後日皆さんとJR稲沢駅周辺のゴミ拾いも実施。

2007年県議会議員初当選同期の浅井よしとか君が4期目を目指した現職を破り豊橋市長に初当選しました。豊橋市が中心となる東三河地域は県内でも人口減少が進む地域で三遠南信地域との連携をも視野に入れた豊橋新時代を掲げる浅井新市長の頑張りに期待大です。

総括監事を務める宮田用水土地改良区の間接監査を実施しました。残高証明書綴を確認したのち運営と事業の第1業務に関する事項及び会計と経理の第2会計経理に関する事項について監査し適正なものと認めました。結果は理事会で報告し総会で承認を頂きます。

■新政あいちブロック座談会

新政あいちのブロック毎に座談会を録画してホームページにUPする取組を始めました。尾張西ブロックの撮影は稲沢市勤労福祉会館で行われ幹事長の中村晋元県議のもとリーダーの高橋県議、事務局長馬淵愛西市議、星野稲沢市議などコロナ対策について自治体の取組、特徴等を議論頂きました。

